

鉄道会社として日本初の、社会実装に特化したオープンイノベーション施設
「SOIL(Shibuya Open Innovation Lab)」の開設が7月1日に決定！
～渋谷から日本のオープンイノベーションを加速します～

東京急行電鉄株式会社

当社は、7月1日(月)に、渋谷を中心としたグローバルイノベーション拠点の形成と、国内産業界のオープンイノベーションの加速を目的として、渋谷駅徒歩1分の立地に、スタートアップ企業や大企業などの新しいサービス・プロダクトの社会実装にフォーカスしたオープンイノベーション施設「SOIL(Shibuya Open Innovation Lab・通称:ソイル)」(以下、SOIL)を開設します。鉄道会社が、新たなサービスやプロダクトを市場に普及させる、「社会実装」に特化したオープンイノベーションラボを開設するのは日本初の取り組みです。

SOILは、一般的なコワーキング施設ではなく、社会実装に向けた招待会員制のオープンイノベーションラボです。1フロア約360㎡で約100名を収容できます。SOILのコンセプトに合致するイノベーションエコシステムのキープレイヤーの方々を対象に、投資家、スタートアップ企業、エンジニア、大手企業、官公庁、メディアなどが、イベントや勉強会などを開催することができます。

また、招待会員はSOILのオープンスペースを無料でミーティングなどに利用することができ、最先端テクノロジーやイノベーションに関する情報の共有化により、情報、資金のみならず人材などの流動性をさらに高め、渋谷を中心とした日本のイノベーションエコシステムの更なる活性化を目指します。招待会員以外のゲストも、イベントや勉強会の主催や参加が可能で、SOILから情報発信や知見の共有をしていただけます(※)。なお、株式会社日本経済新聞社が7月1日(月)から、SOIL内に取材拠点を開設します。

(※)招待会員以外のゲストについては、オープンスペースの通常利用(ミーティングなど)はできません。

渋谷区は、都内有数のスタートアップ企業の集積地として知られており、東急グループの「東急アクセラレートプログラム」「SHIBUYAスタートアップ100」を筆頭に、スタートアップ企業を支援する取り組みも増えており、スタートアップ企業のさらなる集積が期待されます。当社は今後も、スタートアップ企業を中心としたさまざまな企業との事業共創によって、多様化するニーズに迅速に対応し、イノベティブな、ワクワク・ドキドキする街づくりに貢献していきます。

「SOIL(Shibuya Open Innovation Lab)」の概要については別紙のとおりです。



▲SOIL内観イメージ

以 上

【別紙】

SOIL(Shibuya Open Innovation Lab)概要

○施設概要

- ・名称: Shibuya Open Innovation Lab(通称: SOIL(ソイル))
- ・開設日: 2019年7月1日(月)
- ・面積: 364.83㎡(110.36坪)
- ・立地: 東京都渋谷区渋谷1丁目13番9号 渋谷たくぎんビル7階
※渋谷駅11番出口から宮益坂方面に徒歩1分
- ・用途: イベント、カンファレンス、発表会、勉強会、取材、ミーティングなど
- ・収容人数: 約100名(イベント開催時(着席))
- ・URL: <https://shibuya-soil.com/>
- ・営業時間: 平日10時~19時
- ・会員:
招待会員: オープンスペースの通常利用(ミーティングなど)、イベントや勉強会の主催・参加
その他(ゲスト): イベントや勉強会の主催・参加
- ・位置図:



○施設イメージ



▲オープンスペース(通常時)



▲オープンスペース(イベント時)



▲ミーティングルーム



▲エントランス